

「第 20 回 都市防災推進セミナー 国難災害に備える

～明日の日本を守るため、今、できること～」 開催のご案内

日 時：平成 30 年 11 月 16 日（金）13：00～17：00（開場 12：30）

場 所：日本都市センター会館 3 F コスモスホール
東京都 千代田区 平河町 2 - 4 - 1

目 的： 我が国は、国土の成り立ちや自然条件から、台風、大雨、大雪、洪水、土砂災害、地震、津波、火山噴火等の災害が発生しやすい特性を持っています。これまでも幾度となく大規模な災害に見舞われてきましたが、いつ起きても不思議ではないと言われている南海トラフ地震、首都直下地震等では、人的・経済的にも甚大な被害の発生が懸念されています。また、平成 29 年 7 月九州北部豪雨、まだ記憶に新しい今年 7 月の四国地方を中心に大きな被害をもたらした平成 30 年 7 月豪雨にもみられる記録的な大雨による水害・土砂災害は、地球温暖化等による気候変動の影響もあり、被害が増加、激甚化する傾向にあります。

様々な災害の発生リスクが高まるなか、未曾有の災害を国難災害にしないためには、国・地方自治体に加え、民間企業やボランティア、地域住民が一体となって取り組む体制をつくり、それぞれが災害対応能力を高めることで、体制をより強固なものにしていくことが求められています。

本セミナーでは、政府関係者、学識経験者による講演により、大規模災害のリスク、対策の現状と課題を学び、いかに備えるのかということについて、自治体をはじめ企業、地域等の防災関係者に有益と思われる情報を提供させていただくことにより、地域住民の生命、財産を守る防災・減災対策推進に資することを目的としています。

対 象 者：都市防災関係職員／消防・防災関係者／防災ボランティア／一般参加者

参 加 費：無料

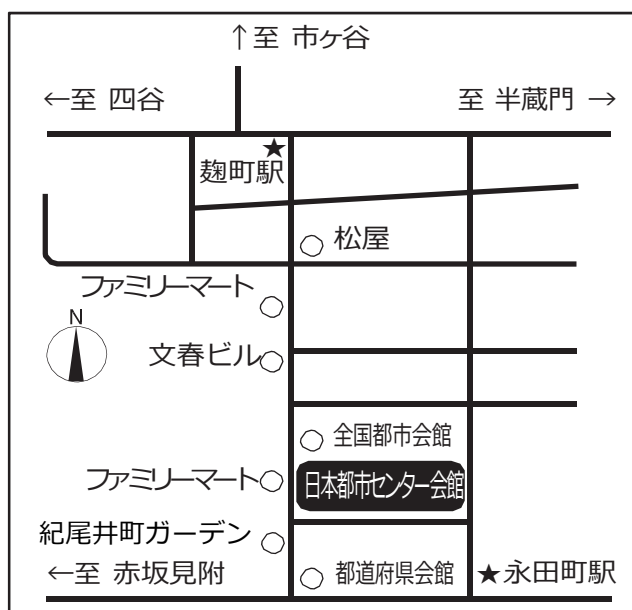
申込方法：本会 HP <https://www.city-net.or.jp/> **お知らせ**都市防災推進セミナー開催のご案内にある参加申込用「メール送信フォーム」から 11 月 9 日（金）までにお申し込み下さい。

主 催：公益社団法人 全国市有物件災害共済会・NPO 法人 東京いのちのポータルサイト

後 援：総務省消防庁、内閣府政策統括官(防災担当)、国土交通省、東京都、東京消防庁、
全国市長会、全国市議会議長会、（公財）日本都市センター、（国研）防災科学技術研究所
（公社）土木学会、（一社）日本建築学会、（一財）日本建築防災協会、
（公財）日本消防協会、（一財）日本防火・防災協会

プログラム：裏面ご参照

会場までのアクセス



- 地下鉄 有楽町線
「麹町駅」半蔵門方面 1 番出口より徒歩 4 分
- 地下鉄 有楽町線・半蔵門線
「永田町駅」4 番・5 番出口より徒歩 4 分
- 地下鉄 南北線
「永田町駅」9b 出口より徒歩 3 分
- 地下鉄 丸の内線・銀座線
「赤坂見附駅」D 出口より徒歩 8 分
- JR 中央線
「四谷駅」麹町出口より徒歩 17 分
- 都バス
平河町 2 丁目「都市センター前」下車
(新橋駅～市ヶ谷駅～小滝橋車庫前)
- お車
首都高速 霞ヶ関出口より 5 分

プログラム (予定)

- 13:00 開会挨拶 公益社団法人 全国市有物件災害共済会 常務理事 小金井 勉
- 13:05～13:50
基調講演 「大規模災害に備える」
総務省消防庁 国民保護・防災部 防災課長 川崎穂高氏
- 13:50～14:35 (45分)
特別講演 「国難災害をのりきるためのレジリエンス・イノベーション」
国立研究開発法人 防災科学技術研究所 理事長 林 春男氏
- 14:35～15:20 (45分)
特別講演 「彼を知り己を知れば百戦殆うからず」で国難を凌ぐ」
国立大学法人 名古屋大学減災連携研究センター長・教授 福和伸夫氏
- 15:20～15:30 休憩
- 15:30～16:15 (45分)
特別講演 「地域の強靱化と事前復興」
首都大学東京・東京都立大学 名誉教授 中林一樹氏
- 16:15～16:55 (40分)
パネルディスカッション
「国難災害に備える
～明日の日本を守るため、今、できること～」
<モデレーター>
跡見学園女子大学
観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋 一氏
- <パネリスト>
国立研究開発法人 防災科学技術研究所 理事長 林 春男氏
国立大学法人 名古屋大学 教授 福和伸夫氏
首都大学東京・東京都立大学 名誉教授 中林一樹氏
- 16:55 閉会挨拶 NPO 法人 東京いのちの森-外ヶ付 理事長 瀧澤 一郎
- 17:00 閉会